

号外!

ヤマノビューティメイトが 琥珀で特許取得

2005.10取得

世界初!

ヤマノ美容研究所の研究室では、日本の化粧品に使える6000種類前後の成分材料が順番を待ち構えている。その一隅にある箱から、五十嵐則夫所長が、淡黄色の粉末の入った袋を取り出した。「これがロシアから輸入した琥珀パウダーで、琥珀を宝石として加工する際に出るものです。このままではザラツキ感が残るので、超微粒子になるまで粉碎しています」。この粉碎技術には、実は大変な苦勞が伴った。静電気を帯びやすいため摩擦で粒子がくっつきやすく、熱を加えると溶けたり焦げたり等の難題をクリアし、上質のパウダーを生み出した。さらに質を上げようと研究中だ。



6000種類前後の原材料

2つの特許

山野幹夫社長が琥珀と出会ってから3年。琥珀パウダーを配合した化粧品「琥珀美シリーズ」を開発したヤマノは2005年10月に、琥珀で2つの特許を取得。一つは従来の各種添加剤に比べ、肌触感を大幅に改善する効果で。琥珀パウダーの配合量を調節しながら添加したクリームを摩擦感テストで反応評価をした結果、ザラツキ感なく滑らかに伸び、また油性成分を含む化粧品特有のべたつきや油っぽさも改善することが証明された。もう一つは、乳化系化粧品に使われる天然色素リコピンの赤を刺激を与えることなく変色・退色防止できる効果での特許である。



エステ用に特殊加工された琥珀球と原石

更なる特許申請

ロシアでは古来から治療として琥珀が使われている。山野社長も五十嵐所長も現地でその実情を目のあたりにして、感動と驚きを禁じえなかったという。所長は以来、琥珀のさらなる未知の可能性を求め、「琥珀に含まれる1万にも及ぶと言われる成分から良い成分を特定し、抽出・合成する研究に没頭している」。製品化する際には、どのような化粧品材料にどのくらいの琥珀を添加し、どのような方法で混ぜ合わせるのかなど、あらゆる実験が必要。4月25日には、独立行政法人理化学研究所との共同研究で生態機能に及ぼす影響、アンチエイジング効果でも特許を申請した。



「琥珀美」シリーズ



ヤマノ美容研究所 所長
ヤマノビューティケミカル
研究開発部 部長

五十嵐則夫

株式会社ヤマノビューティメイト 〒151-0053東京都渋谷区代々木1-30-7 ヤマノ24ビル 3-3375-2424 (代) <http://www.kohakubeauty.com>